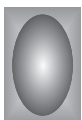


# INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/psj/>)



(財) 山田科学振興財団

## 2004年度研究援助候補推薦要項

### 援助の主旨及び内容

1. 本財団は自然科学の基礎的研究に対して、研究費の援助を致します。実用指向研究は援助の対象としません。
2. 援助額は1件当たり100～500万円、総額4,000万円、援助総件数は10件程度ですが、学会からの推薦及び本財団関係者による個人推薦の中から選考致します。
3. 援助金を給与に充てることは出来ません。特に財団が指定した場合を除き、給与以外の用途は自由です。
4. 援助金の使用期間は、贈呈した年度及びその次の年度の計2年間とします。

### 推薦方法

1. 推薦者：本財団が依頼した学会の代表者
2. 推薦件数：1推薦者ごとに2件以内
3. 推薦手続：推薦者は、以下の書類を整え、ご送付願います。
  - 1) 所定の推薦書用紙又はその写しに必要事項を記入したもの 4部
  - 2) 添付書類 (研学 ('04) 5/8ページ参照)

### 記載上の注意

1. 紙面不足のときには、同型同大の別紙で追加して下さい。
2. 代表研究者は所属長から本援助の申込をすることについて、承諾書を得て下さい。

### 推薦締切期日

本財団に推薦書が到着する締切期日は**2004年3月31日**です。日本生理学会締切日2004年3月15日(月)。

### 選考方法

選考委員会において選考の上、理事会が決定します。

### 選考結果の通知

2004年7月末頃に推薦者及び代表研究者等宛て文書にて通知します。

### 援助金の贈呈

選考結果の通知後、適時銀行振込にて贈呈致します。

### 推薦書送付先及び連絡先

財団法人 山田科学振興財団

(Yamada Science Foundation)

〒544-8666 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

電話 大阪 (06) 6758-3745 (代表)

### 研究の成果及び会計の報告

援助を受けられた方には後日、研究成果、会計についての報告書を提出して頂きます。別途、研究交歓会でも発表をして頂きます。

### 付 記

1. 援助金の用途を変更する場合には、予め本財団の承諾を得て下さい。
2. 研究成果を文書によって発表される際には、本財団(財団法人 山田科学振興財団 Yamada Science Foundation)の援助による旨を記載し、報文の類にあってはその別刷1部、また著書の類にあってはその1部をご寄贈願います。
3. ご提出頂きました推薦書及び添付書類は、お返しいたしません。

## 研究者各位へ

推薦者の項に対応する学会は次記のとおりです。学会により締切期日及び募集方法等が異なりますから、代表研究者は応募の際、各学会にお問い合わせ願います。

日本天文学会	日本化学会	日本生理学会	日本生物物理学会
日本物理学会	高分子学会	日本遺伝学会	日本発生生物学会
応用物理学会	日本農芸化学会	日本分子生物学会	日本植物生理学会
日本金属学会	日本薬学会	日本動物学会	日本植物学会
日本地震学会	日本生化学会	日本細胞生物学会	日本免疫学会
地球電磁気・地球惑星圏学会			



### 東北大学大学院生命科学研究所

### 生命機能科学専攻教授公募案内

東北大学大学院生命科学研究所では、生命機能科学専攻教授を公募します。

1. 募集人員 教授1名
2. 所属 生命機能科学専攻脳機能解析構築学講座
3. 募集分野 神経科学、神経生物学、認知神経科学のいずれかの分野で顕著な研究業績をあげておられる方で、本研究所の脳機能解析構築学講座において新しい研究領域の立ち上げに意欲的に取り組まれる方。
4. 国籍 国籍は問いません。但し学生の研究教育指導が円滑に進められること。
5. 着任時期 2005年4月1日
6. 担当教育 本大学院のほか東北大学理学部生物学科を兼担していただきます。
7. 提出書類 (A4判縦で横書き)
  - (1) 履歴書
  - (2) 研究業績リスト  
原著論文、総説、著書など。
  - (3) 論文別刷りまたはコピー10編以内  
うち主要論文5編については、その研究内容を解説した文書(1000字以内)を添えて下さい。

- (4) 従来の研究内容(1500字程度)
  - (5) 赴任後の研究および教育計画(1500字程度)
  - (6) 過去5年間の研究費採択状況(研究代表の場合のみ記載)。
  - (7) 応募者について問い合わせのできる方の氏名と連絡先(2名以上)
  - (8) その他、学会活動(学会役員、シンポジウム等の主催、学術雑誌の編集委員)。
8. 公募締め切り 2004年1月15日
9. 書類送付先  
〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1番1号  
東北大学大学院生命科学研究所生命機能科学専攻  
選考委員会委員長 飯島敏夫  
封筒表面に「教官応募書類」と朱書きし、簡易書留にて郵送して下さい。なお、応募書類の返却はいたしませんのでご了承ください。
10. 本公募の照会先：  
選考委員会委員長 飯島敏夫  
TEL：022-217-5046  
E-mail：t-ijima@mail.cc.tohoku.ac.jp
11. その他：  
生命機能科学専攻、脳機能解析構築学講座の現在構成は以下のとおりです。

微小脳解析

(教授：嶋田一郎，助教授：水波 誠)

脳機能解析分野

(教授：八尾 寛，講師：石塚 徹)，

脳構築分野

(教授：仲村春和，助教授：大橋一正)，

脳情報処理分野

(教授：飯島敏夫，助教授：筧 慎治)

本研究科に関する詳細はホームページ，  
<http://www.lifesci.tohoku.ac.jp> をご覧ください。



## 第43回日本エム・イー学会大会 演題募集

主催：日本エム・イー学会

協賛：日本機械学会，計測自動制御学会，システム制御情報学会，電子情報通信学会，情報処理学会，電気学会，精密工学会，日本ロボット学会，日本ロボット工業会，日本医科器械学会，日本人工臓器学会，人工知能学会，日本バイオマテリアル学会，日本化学会，日本バイオメカニクス学会，バイオメカニズム学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本人間工学会，日本リハビリテーション医学会，日本リハビリテーション工学協会，ライフサポート学会，日本生活支援学会，日本臨床モニタ学会，日本内科学会，日本外科学会，日本生理学会，日本臨床神経生理学学会，日本運動生理学学会，日本整形外科学会，日本整形外科学スポーツ学会，日本体育学会，日本体力医学会，日本臨床スポーツ医学会，日本健康医学会，日本健康心理学会，IFMBE，IEEE EMBS Japan Chapter（依頼中）

会期：2004年5月19日（水）～21日（金）

会場：石川厚生年金会館

（金沢市石引4-17-1 電話 076-222-0011

URL：[//www.kjp.or.jp/hp\\_22/](http://www.kjp.or.jp/hp_22/)）

この度，第43回日本エム・イー学会大会が上記要領にて開催の運びとなりました。開催場所は北陸の学都：金沢で「医工学連携—豊かな健康長寿社会に向けて」という大会テーマの下，特別講演，招待講演，国際シンポ，基調講演，市民公開講座，シンポジウム，オーガナイズドセッション，ランチョンセミナー，一般演題（口述・ポスター）等の企画プログラムを予定しております。エム・イ

ー学会を始め多数の関連学会皆様のご参加をお待ちいたしております。なお演題申込要項及び企画プログラム詳細等につきましては，今秋発行予定のエム・イー学会誌「BME」に「大会会告第2報」として掲載するほか，大会ホームページ（下記URL参照）においても随時掲載予定です。ご質問等ございましたら下記大会事務局までご連絡ください。

### 【大会事務局】

〒920-8667 金沢市小立野2-40-20

金沢大学工学部人間・機械工学科 人間適応制御研究室内

第43回日本エム・イー学会大会事務局

E-mail：[me2004@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:me2004@kenroku.kanazawa-u.ac.jp)

Tel：076-234-4736 Fax：076-234-4738

### 【大会HP URL】

<http://web.kanazawa-u.ac.jp/~me2004/index.htm>

### 演題募集日程等

#### 1. 演題申込期間

2003年11月10日（月）～12月5日（金）

★この期間内に申込用アプスト（400字程度）を大会HPよりオンライン登録

#### 2. 演題採否通知

2003年12月17日（水）

★採択演題番号を大会HP上に掲示

#### 3. 論文集原稿締切日

2004年1月23日（金）

★カメラレディの原稿 (A4, 1枚, pdfファイル) を大会HPよりオンライン登録  
4. 大会参加費 (論文集代を含む)

会 員 (本学会員, 協賛学協会会員) 12,000円  
非会員 (上記以外) 14,000円  
学 生 (会員/非会員) 3,000円



## 千里ライフサイエンスセミナー

### 「糖鎖の機能解析から糖鎖創薬への架け橋」

日時：平成16年2月27日(金) 10:00~17:30  
場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階ライフホール

主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団  
協賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター  
後援：21世紀COEプログラム大阪大学拠点“疾患関連糖鎖・タンパク質の統合的解析”  
着眼点：ポストプロテオーム研究の重要な分野として、糖鎖生物学と他分野との融合をめざしたシステム糖鎖生物学が注目され始めている。糖鎖はタンパク質の機能発揮・機能高度化の鍵を握る物質であり、糖鎖を利用することで、システム糖鎖生物学のゴールともいえる糖鎖治療学という新しい分野を開拓することが出来よう。糖鎖科学の現状と将来像を、糖鎖治療学の確立を目標とする観点から取り上げる。

コーディネーター：

大阪大学大学院医学系研究科 教授 谷口直之  
理化学研究所フロンティア研究システム  
グループリーダー 鈴木明身

プログラム：

#### ★特別講演

座長：三菱化学生命科学研究所  
所長 永井克孝  
糖鎖構造と機能の多様性：糖鎖創薬の基礎  
ワシントン大学教授, ノーステック財団參與  
箱守仙一郎

#### ★感染症と糖鎖

座長：静岡県立大学薬学部 教授 鈴木康夫  
エイズウイルス糖鎖生物学  
—何故かくも多くの糖鎖が?—  
富山県衛生研究所所長 永井美之  
ヘルペスウイルス感染における糖鎖の役割

大阪大学大学院医学系研究科助教授・教授  
森 泰子・山西弘一

#### ★免疫と糖鎖

座長：京都大学大学院薬学研究科  
教授 川寄敏祐  
IgGの糖鎖改変と抗体創薬  
協和発酵工業株式会社東京研究所主任研究員  
佐藤光男  
糖鎖認識Toll様受容体：感染・がん免疫療法の開発を旨として  
大阪府立成人病センター研究所長  
所長 瀬谷 司

#### ★糖鎖創薬への戦略

座長：高知医科大学教授 本家孝一  
肝炎の糖鎖治療戦略  
タカラバイオ株式会社主任研究員 小山信人  
ファブリー病の糖鎖治療戦略 酵母由来ヒト型糖鎖含有リソソーム酵素の酵素補充療法を中心に  
産業技術総合研究所糖鎖工学研究センター  
センター長 地神芳文

#### ★特別講演

座長：野口研究所顧問 木幡 陽  
Microbial glycobiology and carbohydrate production  
The Ohio State University, Professor Peng  
George Wang

参加費 (講演要旨集含む)：3,000円 (会員：大学・官公庁職員, 財団の賛助会員)；5,000円 (非会員)；1,000円 (学生)

定員：300名

申込方法：氏名, 〒所在地, 勤務先, 所属, 電話およびFAX番号を明記の上, 郵便, FAXまたは電子メールで下記宛にお申込下さい。受付の通知

を返送いたしますので、通知書に記載した振込先  
口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後、  
領収書兼参加証を送付いたします。

申込先：（財）千里ライフサイエンス振興財団セ  
ミナー（T3）係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
千里ライフサイエンスセンタービル8F

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：dnp-lsf@senri-lc.co.jp

（注：lsfは「エルエスエフ」、lcは「エルシー」）